

報道関係者各位

**TBM、通貨処理機シェア世界最大のグローリー社と  
「LIMEX Sheet」を使用した投票用紙「LXコート」を共同開発**

～環境性能と機能性の両立を実現、使用後に回収・再資源化を行うマテリアルリサイクルを推進～

株式会社 TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、世界 100 ヶ国以上で事業を展開する通貨処理機メーカーであるグローリー株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：三和元純、以下グローリー）と、石灰石を主原料とする「LIMEX Sheet」を使用した投票用紙「LXコート」（特許出願済み）を共同開発したことをお知らせいたします。本製品は、2023年8月1日よりグローリー公式通販ストア ALMOTT（アルモット）にて販売予定です。

LIMEX Sheet は、一般的な合成紙と比較し、石油由来プラスチック使用量や CO<sub>2</sub> を含む温室効果ガス排出量を削減することができます。また、紙と比較し、製品の原料に木材パルプを一切使用せず、製造時の水使用量を大幅に削減できるため、森林と水資源の保全に貢献できます。今回、TBM が LIMEX の素材開発で培った特殊な加工技術と、グローリーの認識・識別技術を組み合わせることで、既存の集計機で計測可能な投票用紙「LXコート」を開発しました。一般的な紙と比べて高い耐久性を兼ね備えているため、折り目が付きにくく、投票用紙を折り曲げて投函しても箱の中で直ぐに元通りに開くため、開票作業がスムーズに行えます。「LXコート」は、17色のバリエーションがあり、複数の選挙を同時に行う際にも有効です。今後はグローリーと連携し、保管期間を満了した使用後の「LXコート」を回収・再資源化を行うマテリアルリサイクルを推進していきます。

- ・ LXコートについて：<https://e-almott.com/lp/lxcoat/>
- ・ LIMEX Sheet について：<https://tb-m.com/products/products-sheet/>

**LIMEX**

**Accelerate  
Eco-friendly Election**

通貨処理機シェア世界最大のグローリー社と  
「LIMEX Sheet」を使用した投票用紙  
「LXコート」を共同開発

**T B M**

## ■ LIMEX Sheet の特長

---

LIMEX Sheet は、溶融状態の LIMEX を T ダイから押し出し、シート状に成形したのち、延伸加工によってシート内部に空孔構造を形成し、白さや軽さを生み出します。ポスターや冊子、マップなどに最適な 80 $\mu$ m からメニュー表などに用いられる 400 $\mu$ m まで、多様な厚みの製品をラインアップしています。LIMEX Sheet を製造している白石工場と多賀城工場は、実質「100%再生可能エネルギー」「CO<sub>2</sub>排出係数ゼロ」の電力を使用しています。

### 1 水や森林資源の使用量削減に貢献

LIMEX Sheet は紙と比較し、原料に木材パルプを一切使用せず、製造時に必要とされる水使用量を約 97%削減できるため、枯渇リスクのある天然資源の保全に貢献できます。

### 2 優れた耐久性

LIMEX Sheet は、紙と比べて高い耐久性を兼ね備えており、折り目が付きにくく、破れにくいです。

### 3 上質な質感と鮮明な印刷

LIMEX Sheet は、高級感のあるマットで上質な質感が特徴です。色の再現性に優れているため、カラーイラストも鮮明に印刷することができます。

#### [ご注文・お問い合わせ先]

LIMEX Sheet の使用を検討されている方、また環境配慮の取組みや現行品の見直しを検討されている方は、お問い合わせフォーム (<https://tb-m.com/contact/>) よりご連絡ください。

## ■ LIMEX (ライメックス) とは

---

LIMEX は、炭酸カルシウムなどの無機物を 50%以上 (重量比) 含む、無機フィラー分散系の複合素材です※。主原料が石灰石であるため、プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油、水、森林資源といった資源の保全に貢献することができます。その環境性能については、製品の原材料調達から生産、流通、使用、廃棄に至るまでの製品のライフサイクルにおける環境影響を科学的に分析するライフサイクルアセスメント (LCA) という手法を用いて算定し、素材開発に活用しています。すでに 10,000 以上 (事業所数含む) の企業や自治体等にて採用されており、世界 40 カ国以上で特許を取得、COP や G20 などの国際会議で紹介される他、日本の優れた技術として、UNIDO (国際連合工業開発機関) のサステナブル技術普及プラットフォーム「STePP」に登録されています。

※一般社団法人日本規格協会が発行する JSA 規格では「無機成分を主成分とする無機・有機複合マテリアル (JSA-S1008)」と定義されています。

## ■ 株式会社 TBM

---

代表者 : 山崎 敦義

所在地 : 東京都千代田区有楽町 1-2-2 15F

設立 : 2011 年

資本金 : 234 億 2,993 万円 (資本準備金含む)

事業内容 : 環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL : <https://tb-m.com/>

- ・ 2013 年 経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択
- ・ 2014 年 国内特許を取得し、現在、日中米欧を含む 40 カ国以上で登録。その他 100 件以上の特許出願を実施
- ・ 2015 年 宮城県白石市に第一プラントを建設 (LIMEX 生産容量: 6,000 トン/年)
- ・ 2015 年 経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金 (製造業等立地支援事業)」に採択
- ・ 2016 年 米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞

- ・ 2018年 COP24（第24回国連気候変動枠組条約締約国会議）に日本政府代表団として参加
- ・ 2019年 軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展。G20 大阪サミット 2019 の会場での運営品として LIMEX 製品が採用
- ・ 2019年 中国・河南省、モンゴルでの LIMEX 事業化に向けた基本合意を締結
- ・ 2020年 使用済みプラスチック等の再生材料を 50%以上含む素材「CirculeX（サーキュレックス）」を発表
- ・ 2020年 BtoC 向けの EC 事業「ZAIMA（ザイマ）」を開始
- ・ 2020年 宮城県多賀城市に第二プラントを建設（LIMEX 生産容量：23,000 トン/年）
- ・ 2021年 韓国財閥の SK グループと 135 億円の資本業務提携を合意
- ・ 2021年 自社製造拠点で使用する全電力を実質 100%再生可能エネルギーへ転換
- ・ 2022年 資源循環コーディネートサービス「MaaR（マール）」を開始
- ・ 2022年 科学的根拠に基づく目標（SBT）認定を取得
- ・ 2022年 Amazon が設立した「The Climate Pledge」に署名
- ・ 2022年 温室効果ガス排出量を可視化するサービス「ScopeX（スコープエックス）」を開始
- ・ 2022年 神奈川県横須賀市に LIMEX とプラスチックを自動選別・再生するリサイクル工場を建設（処理能力：40,000 トン/年）
- ・ 2022年 CDP の「気候変動」と「水セキュリティ」に関する調査で「B」認定を獲得

---

\*本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

---

【この件に関するお問い合わせ先】株式会社 TBM 広報部 菊田讓 / LIMEX 事業本部 清水健次  
TEL: 03-6268-8915 Email: pr@tb-m.com